



令和8年度は、第六次釜石市総合計画の後期5カ年の初年度となります。教育文化分野に掲げる「未来を担う子どもたちの育成」「子どもを育む環境づくり」のための教育振興施策に取り組んでまいります。

**1 確かな学力の育成**  
子ども主体の学びにするために「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ることによる授業改善を進め、児童生徒一人一人の学びが「主体的・対話的で深い学び」となるよう取り組んでまいります。

**2 いのちの教育の推進**  
自他のいのちを守るために、主体的に行動できる児童生徒の育成を目指すいのちの教育は、当市学校教育推進の柱の一つです。引き続き「釜石市防災教育の手引き」を活用して防災教育を行ってまいります。

**3 郷土理解を深め、郷土への誇りと愛着を育む活動**  
当市の財産である「鉄」「ラグビー」を生かした学習、郷土芸能の伝承、地元産業の理解など地域の特色を生かした学びを通し、郷

土への誇りと愛着を育み、地域や社会に関心をもつ児童生徒を育ててまいります。

**4 生徒指導の充実**  
不登校対応では、不登校児童生徒の増加を受け、社会的自立を重視した支援と登校への後押しを進めます。魅力ある学校づくりや情報モラル教育、家庭との連携による生活習慣の確立を図り、相談体制や教育支援センター、アウトリーチ支援員の活用、オンライン支援により学習機会の確保に努めます。

**5 中学校の拠点校部活動の導入について**  
自校に部活動の種目がない場合、その種目の拠点校になっている他校の部活動に加入できる拠点校方式を令和8年度から取り入れてまいります。この方式により、拠点校で中学校総合体育大会に参加できるようになります。

部活動の地域クラブへの展開は、引き続き、市長部局および関係団体と協力して取り組んでまいります。

**6 学校規模の適正化・適正配置**  
令和7年9月に「釜石市学校規模適正化・適正配置推進計画」を策定しました。現在、令和9年4月に予定している栗林小学校と鶴住居小学校、白山小学校と平田小学校の統合に向け、統合準備委員会を設置し協議しています。

今後、推進計画により統合が予定されている学校については、統合準備委員会での協議を行ってまいります。

全文はこちら 

**齊藤敦子さんが教育委員に就任**  
3月31日に退任された佐々木ひづるさんの後任として、新たに齊藤敦子さんが教育委員に就任しました。任期は4月1日から令和9年9月30日までです。

# 重点的取り組み

問い合わせ  
市教育委員会 総務課 ☎22-8832

## 教育環境の充実

児童生徒の「確かな学力の育成」に向け、多様な他者と協働しながら学ぶ「協働的な学び」と多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」の一体的な充実を図りながら、子どもが主役の授業づくりを推進します。

### 具体的な取り組み

- 授業改善の推進
- 中学校3年生を対象とした放課後など学習会の実施
- 英語検定3級以上受検者への受検料補助
- 新聞を活用した読解力向上事業
- ICTの活用
- 学区内の小中学校が連携して取り組む中学校区授業実践交流会
- ALT（外国語指導助手）の増員



ICTを活用した授業風景

## 不登校への支援



教育支援センター「若葉教室」

不登校は、取り巻く環境によっては、どの児童生徒にも起こり得るものと捉え、一人一人の状況に応じた支援を推進します。登校への支援を行うとともに、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを大事にします。

### 具体的な取り組み

- 児童生徒が意欲的に学校生活を送れるような魅力ある学校づくり
- 教育相談の充実
- 各中学校への学校教育支援員の配置
- 市教育支援センター「若葉教室」の活用
- 支援が必要な子どものもとへ積極的に働きかけるアウトリーチ支援員の配置

## 部活動運営への支援

### ◆中学校部活動の地域展開

中学生の部活動への参加が任意になるなど、中学校の課外活動は生徒の希望や環境に応じて多様化してきています。「地域の子どもは、学校を含めた地域で育てる」という考えの下、急激な少子化が進む中であっても、子どもたちが将来にわたって継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保していくため、学校部活動を地域クラブ活動へと展開する取り組みを進めています。この中で、部活動の質的向上と教員の負担軽減を図るため、休日を中心に新しい形で部活動を運営する取り組みを始めています。



部活動

### 具体的な取り組み

- 顧問教員に代わって単独で指導や引率ができる「部活動指導員」の配置
- 拠点校部活動の推進